

草津白根山（白根山（湯釜付近））の 噴火警戒レベルの判定基準の改定について

草津白根山（白根山（湯釜付近））の噴火警戒レベルの判定基準のうち、レベル2の基準について見直しました。

気象庁では、噴火警戒レベルを運用している全国の火山について、火山活動の状況や新たな知見をもとに随時見直しを図っています。

今般、草津白根山（白根山（湯釜付近））（群馬県・長野県）の噴火警戒レベルの判定基準について、レベルを2から1に引き下げた後に、活動が再び高まる傾向に転じ、レベル2に引き上げる際の基準を、これまでの観測事例と調査をもとに、別紙のとおり見直しました。

【噴火警戒レベルの判定基準の公表方法】

気象庁ホームページの「噴火警戒レベルの判定基準」のページ（以下 URL）で公表
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/keikai/level/ki_junn.html

気象庁 地震火山部 火山監視課 火山監視・警報センター 長谷川
電話 03-6758-3900（内線 5186）

草津白根山（白根山（湯釜付近））の噴火警戒レベルの判定基準の改定について

- 最近の観測事例と調査を踏まえ、火山活動が静穏時の状態に戻る傾向が明瞭になったと判断してレベルを2から1に引き下げた際に、「火山活動が静穏時に戻る途中」で再び高まる傾向に転じたと判断してレベル2に引き上げる場合の基準のうち、地震回数の基準について、現行の「任意の24時間以内に10回以上」に加えて新たに「前5日間の合計回数が30回以上」を同時に満たした場合とするよう、判定基準を改定しました。
- 「火山活動が静穏時に戻る途中」の場合のレベル2引上げ基準について、これまでは判定基準の解説にのみ記載していましたが、判定基準表にも明記することとしました。

【現行】

レベル	当該レベルへの引上げの基準
2	<p>【山頂火口から概ね1 km 以内に影響を及ぼす噴火の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾斜変動を伴う火山性微動（水釜北東観測点上下動で振幅概ね50 $\mu\text{m/s}$ 以上で継続時間概ね5分以上）の発生 ・山頂火口付近浅部の地震活動の高まり（任意の24時間以内の地震回数が概ね40回以上）、かつ、以下のいずれかの現象が観測された場合 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 山頂火口付近浅部の膨張を示す地殻変動 ➢ 山頂火口付近浅部の温度上昇を示す全磁力変化 ➢ 噴気や湖水の化学組成に高温の火山ガスに起因する成分の増加を示す明瞭な変化 ➢ 山頂火口付近浅部の低周波地震の増加 ➢ 湯釜の湖面状態の顕著な変化や噴気の更なる活発化
	<p>【山頂火口から概ね1 km 以内に影響を及ぼす噴火が発生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴火により山頂火口から概ね1 km 以内に大きな噴石飛散

【改定後】

レベル	当該レベルへの引上げの基準
2	<p>【山頂火口から概ね1 km 以内に影響を及ぼす噴火の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火山活動が静穏時の状態の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・傾斜変動を伴う火山性微動（水釜北東観測点上下動で振幅概ね50 $\mu\text{m/s}$ 以上で継続時間概ね5分以上）の発生 ・山頂火口付近浅部の地震活動の高まり（任意の24時間以内の地震回数が概ね40回以上）、かつ、以下のいずれかの現象が観測された場合 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 山頂火口付近浅部の膨張を示す地殻変動 ➢ 山頂火口付近浅部の温度上昇を示す全磁力変化 ➢ 噴気や湖水の化学組成に高温の火山ガスに起因する成分の増加を示す明瞭な変化 ➢ 山頂火口付近浅部の低周波地震の増加 ➢ 湯釜の湖面状態の顕著な変化や噴気の更なる活発化 ●火山活動が静穏時に戻る途中の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・以下のいずれかの現象が観測された場合 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 火山性地震が任意の24時間に10回以上かつ前5日間の合計回数が30回以上観測される ➢ 火山性微動が発生する ➢ 地殻変動が再び膨張に転じる ➢ 全磁力が再び熱消磁に転じる ➢ 噴気や湖水の化学組成における高温の火山ガスに起因する成分の急増や湯釜の湖面状態の顕著な変化、噴気量の急増
	<p>【山頂火口から概ね1 km 以内に影響を及ぼす噴火が発生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴火により山頂火口から概ね1 km 以内に大きな噴石飛散

「火山活動が静穏時に戻る途中」で再び高まる傾向に転じたと判断してレベル2に引き上げる場合の基準を明記するとともに、新たな地震回数の基準（下線部）を追加